

別府 鉄輪温泉

ひょうたん温泉

べっぶし かなわ
別府市 鉄輪159-2



えんかぶつせん えんぶん むしょくとうめい
ナトリウム塩化物泉で、塩分の多い、無色透明なお湯です。

はだ
肌にやさしくて、さっぱりとした感じがしました。

ちょうじかんはい
ぬるめのお湯で、のんびりと長時間入っていられます。

男湯には、上の写真の、ひょうたんの形のお風呂があります。

(女湯にはつい対とも言える、さかすき風呂盃風呂もあります。)

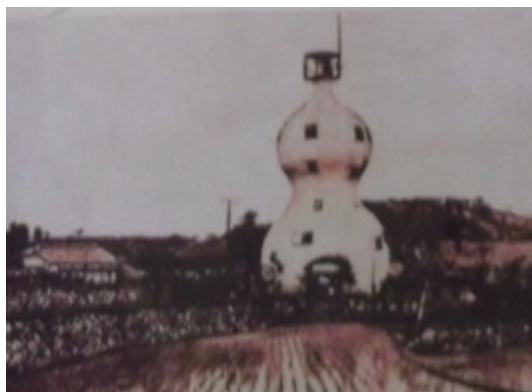
ひょうたんの名前や形は、そうぎょうしゃ創業者の河野順作さんが、

とよとみひでよし豊臣秀吉が好きだった、ゆらいことに由来しているそうです。

〈 せんなりひょうたん うまじるし はたじるし秀吉は、千成瓢箪の馬印（旗印）を使っていました。〉

そうぎょうとうじ創業当時、最初に造られた、ひょうたんの形の岩風呂は、

今現在も、女湯にあります。



昭和2年には、高さ18m、7階建ての

「かくひょうたん閣てんぼうだい」という展望台があったそうですが、

昭和20年に「くうしゅう空襲ひょうてきの標的になる」との理由でてっきよ撤去されたそうです。

よくしつ ろてんぶろ む ゆ
浴室が広くて、露天風呂や蒸し湯もあります。

あ ろてんぶろ の
お日さまを浴びながら、露天風呂で体をおもいっきり伸ばすと、
こちよ
とても心地良かったです。

えんぶんのうど いき す こ ぬ
塩分濃度が高いせいか、息を吸い込んで、力を抜くと、
う
体が浮きました。

(^_^) ~



たきゆ う ゆ
『 瀧湯 』という、打たせ湯が何本もあります。



いわ ひのき
岩のお風呂よりも、檜のお風呂の方が、

はだ
肌ざわりも、やさしくて、ゆっくりとできました。



なかにわ えんぎ ゆ の おんせんすい
中庭に、『縁起の湯』という飲める温泉水と、

『温泉たまご』（一個70円）があります。

この温泉水は、あまり塩辛くなくて、

おいしかったです。



げんせん かすい
約 100℃ の源泉のお湯を、加水することなく、

さ ゆめたけ
短時間で冷ますことのできる『湯雨竹』という

れいきゃくそうち あしゆ
竹製の冷却装置を使った、無料の足湯が、駐車場にあります。